

一般社団法人 日本小児血液・がん学会  
第 69 回理事会議事録

日 時:令和 4 年 11 月 24 日(木) 13:00~15:00

開 催:虎ノ門ヒルズフォーラム 5 階(東京都港区虎ノ門1丁目23-3 虎ノ門ヒルズ森タワー)

出席者:大賀 正一(理事長)、菱木 知郎、真部 淳(第 65 回学術集会会長)小川 千登世、奥山 宏臣、  
塩飽 仁、多賀 崇、高橋 義行、滝 智彦、藤 浩、家原 知子、大植 孝治、加藤 元博、  
木下 義晶、富澤 大輔、山崎 文之、余谷 暢之(以上理事)  
淵本 康史、堀 浩樹(以上監事)  
越永従道(第64回学術集会会長)、足立壮一(第 66 回学術集会会長)

欠席者:義岡 孝子(理事)

冒頭に、本日の理事出席者数は理事18名中17 名であり、定款施行細則第8条第3項に定める成立定足数を充たしているため、本理事会は成立することを確認し、理事大賀 正一は議長となり、議長席に着き審議に入った。

## I. 前回理事会議事録(案)の確認

議長より、前回議事録(案)が示され、議場にその承認が求められたところ、異議なく承認された。

## II 審議事項

### 1. 入会申請者の件

庶務・財務委員会の菱木担当理事より、現在の会員数の報告とともに、入会申請者が示され、議場にその承認が求められたところ異議なく承認された。

### 2. 学術集会における発表時の倫理的配慮について

学術集会プログラム委員会 家原担当理事より、「学術集会における発表時の倫理的配慮」については、一定の基準を満たす必要があるため、学術集会プログラム委員会にて見直したものを倫理委員会へ審議し、第65回学術集会より適用されることが異議なく承認された。また、臨時社員総会をはじめ、会員への周知を十分に行うこととなった。

### 3. 研究審査委員会における審査の位置づけと内規案「日本小児血液・がん学会疾患登録」データの二次利用における学術調査委員会との関係について

研究審査委員会の家原担当理事より、「日本小児血液・がん学会疾患登録」データの二次利用のある臨床研究審査申請については、学術・調査委員会への疾患登録データ利用申請の承認後、研究審査委員会へ調査研究の申請が必要であることを「研究審査委員会内規」及び「臨床研究審査申請書」に明記するよう変更が示され、異議なく承認された。

### 4. 小児白血病・リンパ腫診療ガイドラインおよび小児がん診療ガイドライン2016年版改訂について

診療ガイドライン委員会 多賀担当理事より、小児白血病・リンパ腫診療ガイドラインおよび小児がん診療ガイドライン2016年版改訂作業に伴い、入手不能な文献について有料で入手する旨が示され、異議なく承認された。

### 5. 日本先天代謝異常症学会との共同で行う研究について

学術・調査委員会 木下担当理事より、日本小児血液・がん学会と日本先天代謝異常学会の協力の下、「先天性代謝異常症に合併する血球貪食性リンパ組織球症(HLH)の後方視的調査研究」を実施についての委員会審議が行われたことが示され、異議なく承認された。

### 6. 働き方支援ネットワークアンケート結果とその HP 掲載などについて

女性医師支援委員会 大賀理事長より、本年実施した「働き方支援ネットワークアンケート」の結果と各施設情報の HP への掲載について資料で示され、再度委員会より回答施設へ HP 掲載通知及び担当部署などの確認を行った上で公開することとなった。

### 7. 特定非営利活動法人臨床研究支援機構(NPO OSCAR)との「20歳未満に発症する血液疾患と小児がんに

関する疫学研究」に関するデータの収集管理業務委託契約について

学術・調査委員会 木下担当理事より、「20歳未満に発症する血液疾患と小児がんに関する疫学研究」に関する、特定非営利活動法人臨床研究支援機構(NPO OSCR)とのデータの収集管理業務委託契約について例年同様の契約書、見積書が示され、異議なく承認された。

#### 8. 対外委員について

大賀理事長より、関連学会・団体等の各種委員会等の役職について、今後は理事を中心に割り振りを調整しながら担当を調整し、当て職として運用していくことが確認された。

#### 9. e-Learning 視聴コンテンツの院内がん登録の教材使用依頼について

長期フォローアップ移行期医療検討委員長の大賀理事長より、e-Learning 視聴コンテンツの院内がん登録の教材使用依頼について委員会での審議結果が報告され、今後、「小児がん拠点病院」と「がん診療連携拠点病院等」の院内研修での利用を許可することで異議なく承認された。

#### 10. 脳腫瘍診療ガイドラインについて

大賀理事長より、日本脳腫瘍学会からの「脳腫瘍診療ガイドライン」の作成に伴う、ガイドライン作成ワーキンググループの委員推薦依頼について検討中であることが報告され、委員選任については一任されることが異議なく承認された。

### Ⅲ. 報告事項

#### 1. 学術集会報告

##### 1) 第64回学術集会

越永会長より、翌日より1日目、2日目は現地開催、3日目は完全 WEB で開催される学術集会について、開催直前の報告がなされた。10件以上の取材申請があったこと、COVID-19の影響で VISA の問題があり、検討していた海外演者は1名のみでの招聘となったことなどについても報告された。

##### 2) 第65回学術集会

真部会長より、2023年9月29日～10月1日に開催する第65回学術集会について、COVID-19の状況をみながら、現地開催もしくはハイブリットでの開催を検討中であることが報告された。

なお、第65回学術集会より、倫理委員会を通過していない演題登録が不可となるため、早めに十分な周知を行なう旨が報告された。

##### 3) 第66回学術集会

足立会長より、2023年12月第1週で日程調整中であること、テーマは「Always with you～がんの子どもに寄り添う～」で決定したことが報告された。

#### 2. 委員会報告

##### 1) ガイドライン作成に関する保険適用外薬の取り扱いについて

保険診療委員会 小川担当理事より、内保連の会議で検討された保険適用外薬のガイドラインでの取り扱いについて、今後作成されるガイドラインについては、保険適用外薬についてもエビデンスレベルが高いものについてはエビデンスレベルを記載した上で、標準治療であるとガイドラインに記載をするという見解になったことが報告され、適用外薬が含まれている場合は、補足で保険適用としては適用外である(保険適用にするべきである)等の記載をすることも併せて報告された。

未承認薬についてもガイドラインへ掲載することで承認につなげることもなるため、本会で作成するガイドラインについてもできるだけ記載をするように提案された。

これらについて診療ガイドライン委員会でも委員に周知し、保険診療委員会へ確認を行いながら、ガイドラインの作成を進めることとなった。なお、本件については今後も内保連で継続審議が行われる予定とのことである。

##### 2) 専門医制度委員会より報告事項

専門医制度委員会 富澤担当理事より、臨時社員総会の委員会報告での報告事項として、9月10日に実施した第8回小児血液・がん専門医試験、第1回小児がん認定外科医試験について、2022年度の日本専門医機構サブスペシャリティの申請について周知を行う旨が報告された。

5)教育・研修委員会より報告事項

教育・研修委員会 余谷副担当理事より、12月に実施予定の CLIC の参加申し込みの呼びかけが行われた。

6)看護委員会より報告事項

看護委員会 塩飽担当理事より、前回の理事会で承認され、パブコメを実施したハンドブックについて、パブコメで寄せられたご意見をほぼ反映した内容で完成し、第64会学術集会会場で配布を行うことが報告された。

看護委員会の今後の在り方について、これまでの看護に限定した取り組みだけでなく、小児がんの臨床に携わる心理職や教育に携わる方々にもご参画いただき、多職種連携を後押しするような委員会として見直しを検討していることが報告された。また、小児がん看護学会との連携についても改めて検討する方向であることが報告された。

6)教育・研修委員会より報告事項

教育・研修委員会 大植担当理事より、本年度の地区セミナーを2023年1月～3月の予定で7地区が開催準備中であることが報告された。2023年度以降の地区セミナーの開催について、現地及び WEB などの開催方式や、地区での分担形式などについても見直しを行う方向であることが報告された。

#### IV.理事長報告

1)第31回日本医学会総会加盟学会展示について

第31回日本医学会総会加盟学会展示については、第64回学術集会での理事長報告資料を大賀理事長より社会・広報委員会へお渡しいただき展示内容を作成し提出していただくこととなった。

2)小児の臓器移植および免疫不全状態にある予防接種ガイドライン

日本小児感染症学会の「小児の臓器移植および免疫不全状態にある予防接種ガイドライン作成委員会が進めている「小児の臓器移植および免疫不全状態にある予防接種ガイドライン」の作成に伴い、成人期に移行した患者も対象とするため、成人領域の先生方からの意見を反映することとなったため、関連成人領域学会による評価と承認についての依頼を、日本造血・免疫細胞療法学会と日本血液学会宛に、本会も連名で依頼することが報告された。

議長は、以上をもって本日の議案の審議を全て終了した旨を述べ、閉会を宣した。

以上の決議を明確にするため、出席した理事長及び監事がこれに記名押印又は署名する。

令和4年11月24日

日本小児血液・がん学会 第69回理事会

理事長 大賀正一 ㊟

監事 淵本康史 ㊟